

総合評価落札方式における技術提案のプロセスに関する検討について

1. 背景

- 調査基準価格ギリギリでの激しい競争状況に突入している。
- 加算点数のわずかの差が受注を分ける状況となっている。
- 技術提案の審査結果について、ブラックボックスであるとの不信感を表す声もある。

2. 目的

- 本研究では、発注工事の技術提案について、発注者以外の目（他部門6グループ分け）で審査を行い、発注者による審査との対比することで、技術審査のプロセスを明らかにするとともに、不信感の原因について議論を行う。
- 技術提案書をどのように審査するべきかという点について、受発注者等によるオープンな議論を行うことを目的とする。

3. 検討方法

- 模擬工事
 - ・模擬工事は、昨年度発注した工事を元に作成
 - ・元となった工事実際に参加された会社から、ご協力を依頼
- 模擬技術提案書の作成
 - ・求める技術提案は、「冬期の寒中コンクリートの品質管理について」
 - ・記述項目は、「養生方法」「強度の管理・向上」「ひび割れ対策」「その他」とする。